

ふたつの輪



発行
2018年1月18日
No. 2904
社会福祉法人
にりん草
東京都板橋区
大山金井町21-1
03-5926-8640
<http://nirinsou.jp/>



社会福祉法人にりん草 理念

優しくあれ 温かくあれ そして共にあれ 人間らしく

撮影 向香史里(ノキーハウス)

年の初めに

社会福祉法人にりん草 理事長 小西早苗



明けておめでとうございます

平成最後の年がスタートしました。平成15年に社会福祉法人を立ち上げてあつという間に月日が流れました。ご存知の様に、にりん草は親の会運営の民営授産と呼ばれていた小さな四か所の福祉作業所が、法人格を持たなければ運営がやぶまれるとのことで、板橋区から要請をうけ法人化をすすめました。

一番大きなハードルは短期間(約半年)で基本財産の1千万を作ることにした。基本財産を準備出来なければ、法人審査の埒上にも乗らないということ

2018年4月から改正「障害者総合支援法」が施行されます。改正のポイント、①「生活」と「就労」に関する支援の充実、②高齢障害者への対応の充実、③障害児支援の充実、④情報公開、です。

①については、「就労定着支援」(就労移行支援等を経て一般就労した人に就労後の課題を事業者・家族等との間で行う支援)と「自立生活援助」(一人暮らしを希望する人に対して定期的な巡回を通して行う支援)が創設されます。②については、介護保険が優先となる65歳以上の障害者について、介護保険移行後の自己負担がゼロになります。また、障害者施設と介護保険施設の垣根を低くし、障害者施設が介護保険事業

**新年度から
障害福祉サービスは
どうなるのか？**
社会福祉法人にりん草
業務執行理事(人材育成担当)
丸山 晃

示されています。③については、重度障害や医療的ケアを要する障害児

を、介護保険施設が障害福祉サービスを行うことを容易にする方向性も

とで明けても暮れても資金集めに狂奔しました。

とりあえず目標は達成しましたが、法人化を決断した第一の理由は「都の補助金が近い将来カットされたとしても区としては昨今の財政状況では補填は出来ない」との所管課のご意向でした。作業所へ通う人達の処遇の低下を何とかしてふせがねばという強い思いでした。

一方で法人化したら可能となる様々な事業を視野に入れ、事業展開を進めてまいりました。そしてできたのが、生活支援センター、クッキーハウス、グループホームほのかなどです。

激流の様に押し寄せる高齢化。身体能力の低下と保護者の支援力の衰えて送迎車の利用すら困難になり、施設入所や高齢者デイサービスへの移行を余儀なくされる利用者。在籍人員が著しく減少し、運営費の減少をまねいている現状があります。

今や民間参入も多く、様々な福祉サービスを利用者が選択できる時代になってきています。家庭的で美味しい給食、きめ細かな支援、個々の想いを重視した活動、地域とのつながりなど、どんな素晴らしいことを提供できるかアピールして、区長が掲げている「一番住みたくなる街」ではないけれど、「一番通いたくなる作業所」を目指したいものです。

法人の理念「優しくあれ、温かくあれ、そして共にあれ、人間らしく」は飾りものではありません。通う人達も親も、安心して楽しく過ごせる作業所を、皆さんと共に育てていきたいと思えます。

への支援の充実とともに自治体で障害児福祉計画が策定されます。④については、各施設等の具体的な取り組みや状況等の情報を都道府県が集約しインターネットで公開することになっていきます。

また、政府は2018年度から障害福祉サービスの報酬改定を行います(事業所に払われる障害福祉予算)。今回は全体で0.47%の上昇となりますが、職員の昇給分等を加味した人件費の上昇を考慮すると実質的にはマイナスといえます。また、就労継続支援B型では平均工賃に同じ基本報酬となることや、今回は廃止が見送りととなりそうな昼食費への報酬加算など、継続して注目していく必要があるといえます。



新年明けましておめでとうございます

にりん草各事業所を代表して職員から一言

**働く気持ちを支えたい
とくまる福祉作業所 草刈広太**



利用者さんと日々関わっている中で、生活介護、就労B型を問わず、「仕事が好きです!」「仕事を頑張りたいです!」という気持ちが強い方がたくさんいらっしゃいます。

私は利用者さんの「働く」という意欲や気持ちを尊重していくと共に、個々のペースやリズムも大切にしながら支援していきたいと思えます。

また、利用者さんが元気に作業所に通って頂けるよう、健康が第一と考えています。作業だけでなく、健康維持のための活動や運動を取り入れ、利用者・職員が一丸となり「笑顔」で「元気」な活気ある作業所をこれからも作っていき、にりん草を盛り上げていきたいです。

**学び続ける一年に
はすね福祉作業所 浅見翔太**



にりん草職員になり、2年が経ちました。高齢化・重度化の波は、にりん草でも例外ではなく、今後より専門的な知識やスキルが求められると思っています。

そのため研修に積極的に参加し、資格取得にも力を入れています。

また、とくまる福祉作業所との事業再編もあるので、はすね福祉作業所で2年間得たことを活かして支援を行い、一人一人の利用者さんとの関わりを通してスキルアップにつなげていきたいと思えます。

支援にマニュアルはないので、日々の支援に勉強だと捉えながら1年を過ごしたいと思えます。

**一人ひとりに寄り添って
まえの福祉作業所 岡村円香**



まえの福祉作業所で1月に一度、自治会「一期一会」で意見交換を行います。

課題がある場合にはどのように解決していけば良いのか共に考えます。今年も利用者さんがより良い作業所生活を送れるよう、自治会をサポートしたいと考えています。

就労移行支援では、就労が決まった方、実習が始まる方がおられます。お一人お一人の人生の転機に寄り添い、フォローアップしていきます。

**今の私があるのも作業所の
利用者さんのおかげです
おおよま福祉作業所 矢作央子**



これまで放課後デイや歯科医院の受付などの仕事をしましたが、何か物足りなさを感じていました。それでも福祉の分野での仕事には関心があつたので、インターネットでさがしていたところ、おおよま福祉作業所のホームページに遭遇。見ていたら利用者さん(裏面へ)

の笑顔がとても印象に残り、ここで働けたら楽しいかもと思うようになったのが、入るきっかけでした。

どんどん話しかけてくれる利用者さんのおかげで、作業所の雰囲気にもすぐに慣れました。利用者さんは仕事があればあるほど喜ぶ人が多いです。また行事への参加にも意欲的です。

利用者さんからはいろいろな意味で刺激や元気をもらっている私ですが、そんな利用者さんが生きがいを感じる作業所であり続けるために、これから頑張っていきたいと思っています。

支援の基本は

受容・共感・傾聴

グループホームほのか 金田憲



ほのか職員の金田と申します。写真はほのかにいる利用者さんにちょっとした手品をしているシーンです。

ほのかにお世話になる前は、高齢者関連施設に約9年勤務していました。

私は利用者一人ひとりのパートナーとして、色々な場面にそっと寄り添い、利用者の望む暮らしの実現に向けて、共に歩んで行けたらと思っています。

福祉の現場では、受容・共感・傾聴といった言葉がよく聞かれます。心で受け止め、感じて、聴いていくそんな支援者として、今後も仕事に取り組みで行きたいと考えています。

チームワークを大切に

生活支援センターにりん草

【居宅介護事業所】吉村千賀子



新年明けましておめでとうございませう。センターでは、新体制になってから迎える新しい年となりました。

めまぐるしく過ぎた九ヶ月でありましたが、今年は、改めての見直し・定着・反省等々を再確認し、ヘルパーの確保（特に男性）を重点的にを行い、利用者さん・ヘルパーの方々がお互いに良い支援が出来るように、スタッフ一同チームワークを組み、新しいスタートをしたいと思います。

お客様に励まされながら

クッキーハウス 向 香央里



クッキーハウスは、平成29年12月で高島平にお店を移転し3年目に突入。昨年は、利用者さん達が一生懸命

手づくりしているクッキーを「まずは手に取ってもらいたい」と、多くのイベントに参加しました。温かいお客様に励まされながら、接客も頑張っています。

仕事の深さを実感

生活支援センターにりん草

【指定特定相談支援事業所】中地芳子



私達相談支援専門員は、計画作成やモニタリング以外にも担当しているご本人や関係者から様々な内容の連絡・相談を受ける事があり、その度にこの仕事の深さを実感しています。

昨年四月から相談員になった未だまだ『ひよっこ』の私。今年は『香香』のように成長著しく...と、思いを新たにしています。

おおよまフェスタ2017

おおよま福祉作業所

作業所まつりが行われたのは昨年の11月12日(日)。新設の地域コーナーでは地域の方が作ってくれたお稲荷さんや玉こんにゃくなどを販売。早々に完売になるほど好評でした。



また地元の出店もあり、揚げたての美味しい天ぷらにお客さんは満面の笑みをたたえていました。



午後4時のお楽しみも地域の方が紹介してくれたボツボツ谷さんのライブをはじめ利用者さんのお出し物、お母さんたちの炭坑節、子どもたちによる太鼓演奏などが次々と繰り広げられ、大いに盛り上がったおまつりとなりました。

これまで地域の皆さんと一緒に作業所で音楽コンサートを楽しんだり、防災に詳しい民生委員の方を講師としてお招きし防災セミナーを開催したり、地域交流を積極的に図ってきたおおよま福祉作業所。今回のおまつりで、地域とのつながりがさらに深まった印象です。

第21回まえの秋まつり

まえの福祉作業所

2017年11月4日秋晴れの中、まえの福祉作業所にてまえの秋まつりが



盛大に行われました。当日は「いたばしのいっぴん」や自主生産品の販売があり、商品によってはずぐに完売となる盛況ぶりでした。



今年のステージは、元劇団四季の佐川守正さんと、奥様の比美子さんによる「まえの秋の音楽会」を行いました。

曲目は①アヴェ・マリア ②今、君を愛す ③オペラ座の怪人より ④Time to say goodbye (con the parting) ⑤メモリー ⑥キャッツより ⑦あんこまパニー1楽章「信じてくれないだろうなあ」 ⑧2楽章「材料」 ⑨3楽章「サンドイッチ用のパンに...」 ⑩マイウェイの全7曲を披露してくれました。

音楽会後は、利用者さんによる太極拳の舞台発表があり、日頃の練習の成果を発揮することが出来ました。

クリスマス食事会

はじける笑顔・おいしい料理

グループホームほのか

2017年12月8日金曜日、今年で4回目となるクリスマス食事会を行いました。



今回の会場は西台の「ハー



プ&おいしい野菜塾レストラン。もともと農業指導を行う「農業塾」でしたが、現在は畑で育てたハーブや野菜をふんだんに使った料理で評判のお店。

節目の年の新年会

とくまる福祉作業所

1月12日(金)とくまる福祉作業所は新板橋のフレンチ料理のお店で新年会をしました。

おいしいフルコース料理



にみんな大満足の様子。併せて、成人3名のお祝い、勤続10年1名・勤続20年5名の表彰も行いました。



とくまる作業所は平成5年に開所して25年を迎えますが、4月には生活介護利用者さんは、はすね作業所に移り、とくまる作業所

では、はすね作業所の就労B型の13名を迎え、新しい生活が始まります。これからも、みんな仲良く元気で過ごしてほしいと思います。

こんな研修・講演会に参加しました

10月~12月

- ・ 広報講習会スキルアップ研修(ソウウェルクラブ)
- ・ 講師(株) インダストリアル・パブリシティ・エージェンシー 前田氏 高品氏
- ・ 管理者向けメンタルヘルスラインによるケア研修(ソウウェルクラブ)
- ・ 講師: 安藤 巨氏(精神保健福祉士)
- ・ 困難事例研究「親なき後を見据えた支援」(特定非営利活動法人 人材開発機構 サポーターズ・カレッジ)
- ・ 知的障害支援者専門研修会(国立障害者リハビリテーションセンター)
- ・ 虐待防止・権利擁護についての研修(東京都福祉保健局)
- ・ 地域のニーズにこたえる(東京都地域公益活動推進協議会・東京都社会福祉協議会)
- ・ 求職者の心に響く採用活動(東京都社会福祉協議会)
- ・ 福祉職員職務階層別研修(中堅職員研修)
- ・ 食品衛生講習会

編集後記

4月からの「障害者総合支援法」の改正。就労定着支援や自立生活援助など、新しい仕組みは大変ありがたいが、実際誰が担うのかということとは見えてこない。はたして事業として成立するだけの報酬がつかののだろうか。

理念だけが先に行き、現場が置いてきぼり、仕組みがともに機能しないという事態は避けてほしいものだ。(KY)